

■ 議員控え室

●Tel 0797-77-2117
●Fax 0797-74-1810
●E-mail
goiken@tgikai.zaqr.jp

■ 事務所

〒665-0816
宝塚市平井 1-6-14
●Tel&Fax
0797-89-4090
●HP
http://ayumukai.jp/
●E-mail
o-ayumukai
@hera.eonet.ne.jp

☆月～金 10:00～15:00
但し、不在のこともございますので、お電話をしていただいてからお越ください。
☆事務所のコピー機・印刷機（新機種入りしました）ご利用ください。（有料）
☆事務所をグループ・サークル等の活動にご利用ください。（無料）
《使用日時は電話でお問い合わせください。》
☆事務所に教育・平和・食の安全等の本があります。お気軽にご覧ください。

議会報告会に

参加しませんか

「おーちゃんの市政リポート」には、暑い土曜の朝にも関わらずご参加戴き、本当に有難うございました。

参加できないとご連絡いただいたみなさん、是非「議会報告会」にお出てください。

① 8月7日（日） 10:00～12:00
西公民館セミナー室
② 8月10日（水） 19:00～20:45
東公民館ホール
議会による報告会を開催している

のは近畿でも、まだ数市町しかありません。

報告会の開催が条例で定められたのは、市民から選ばれた議員が、多くの意見や情報を収集・交換すること、また、議員には議決等の賛否の理由を市民に説明する責任があること。これにしたがって、議員全員が役割を決めて参加し、私は①で書記をします。



この機会に、条例に則って順次変わっていく市議会を、皆さんも体感してください。

議会云報生口

1 議会の構成

議長選では、前期より議会運営委員会委員長・議会改革特別委員会委員長として、議会をまとめて来られ、地域主権・住民主権を訴えた江原議員を議長に、市民福祉の向上と市民に信頼される開かれた議会をめざす北野議員を副議長に、投票しました。また監査委員には、住民監査請求の増加にきちんと対応したいと訴えたたぶち議員に投票しましたが、山本議員が当選しました。



2 開かれた議会に向けて

議会改革に関して2委員会が活動しています。議会改革検討委員会と、広報活動に特化した広報公聴委員会です。浅谷議員は前者に、私は後者に所属しました。

広報公聴委員会で決定した主なことは、①議会報告会を各議会終了後、議員は2組に分かれ、2地域で休日と平日の夜間に開催する。②議会報で会派毎の議案の賛否を公開する。③9月議会から、議案の審議の後に一般質問を置く。また、議員の自由討議を活発に行うため、議会審議における論点や争点の整理等、委員会での手順が変更します。

議員の27%を占める7名の新人が当選し、3名の現職議員が落選したことは、議会に対する厳しい評価と受け止めています。

私は選挙活動を、次の方針で行いました。①投票率の低い若い人たち、幼児の親世代に力を入れる。②より多くの人に知って欲しい。



い、放射能汚染についての学習会を開催する。③民主主義の原点に返り、またエコロジーの観点から、ハンドマイクで訴えながらの練り歩きと街頭演説を中心とする。（しかし実際は雨天が多く、半分しか出来ていません。）

3 主な議案・請願・陳情の審議

審議

・宝塚市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について↓可決

：茨木市の最高裁判決に倣い、臨時任用職員又は非常勤の職員を規定し（正規職員1週間の勤務時間の3/4を超えるか否か）給与の額などを定め、関連規定を整備する。3/4以下の職員の期末手当はなくなったが、金銭的不利益を被らないよう配慮した。3/4超えは「報酬」から「給料」と明記した等の理由で賛成した。しかし、常勤1989人に対し非常勤1432人と不安定な雇用形態が増えていることは問題

・平成23年度宝塚市一般会計補正予算↓可決

：一億3千464・3万円を追加し、684億3千464・3万円とする。主な事業は、①閉じこもり高齢者への訪問②認知症の方への24時間対応の定期巡回・デイサービス利用者の宿泊サービスを委託③暴力団追放に関する弁護士等の費用④小4・6年の通院自己負担3割を2割に引き下げる⑤大腸がん健診を40

60歳の5年毎に⑥東日本大震災関連で応援職員・ボランティア派遣、スポーツ交流での子どもの受入れなど。但し⑥には、全事業を精査検証し、被災者支援の十分な財源確保を求める付帯決議が出された。

・宝塚市立療育センター条例の一部を改正する条例の制定について↓可決

：障害者自立支援法に規定する児童デイサービス事業「あそびっこ広場」を8月から開始。早期療育が必要な乳幼児の発達援助や子育て支援を行う。

・宝塚市立宝塚文化創造館（宝塚音楽学校旧校舎）条例の一部を改正する条例の制定について↓可決



左) 宝塚文化創造館の門から扉越しに玄関を見る。ツタがやっと1階部分まで成長。

右) 2階には舞台上で使用された豪華な衣装が展示されている。

：2階展示室を宝塚音楽学校・歌劇がテーマの展示施設に整備。入場料300円とする。

・宝塚市副市長の選任につき同意を求めることについて↓同意

：山下稔氏を再任、2人目は置かず、代わりに理事・技監（一般職）を配置し、事実上副市長1人制に。

・「自然エネルギーによるまちづくり」

についての請願↓採択 [反]坂下・石倉・村上・山本・藤本・伊藤・太誠会

：市全体で省エネルギーに取り組む姿勢こそが、第二次環境基本計画で謳う、「持続可能なまちへの先駆的転換」である。請願者は「市と共に汗を流したい」と言い、市民を支える行政は、自然エネルギーの研究や取り入れることが出来るものはすべてやるという強い意志で、まちづくりに取組んで欲しいと願うもの。代表紹介議員となった。

・「環境先進都市宝塚を世界にアピールできるような手塚治虫記念館リニューアル」についての請願↓不採択 [賛]浅谷・井上・大島

：環境先進都市・宝塚を、発信・アピールするシンボルとして、手塚治虫記念館を位置づけて欲しいというもの。



手塚治虫記念館前の火の鳥像は復活の象徴。

・豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願↓採択 [反]坂下・山本

：義務教育費国庫負担制度の堅持と、少人数学級の推進・適切な教員確保の財政措置を国に求めているというもの。

・地方自治体において明確にされた住民意思を尊重し、国の政策立案・実施に反映することを求める決議又は意見書を上げることを求める請願↓継続審査

：沖縄の米軍基地撤去に関する請願は、前期、何度も継続審査とされたので、地方自治の観点からの請願に書き換えたが、継続にされた。

・原子力発電所の安全対策の強化等を求める意見書の提出について↓可決

：国の原子力防災指針の見直しを求める意見書の提出について↓可決
：どちらも当会派が出したものの。意見書は議会運営委員会で協議、修正



されても全員一致したもののみ、国に提出する。「原子力・エネルギー政策を転換し、自然エネルギー政策促進を求める意見書」は却下された。・学校給食の米飯自校炊飯事業の凍結に関する決議(案)の提出について
↓否決 賛坂下・山本・伊藤
：①総務委員会では、特定事業でなく全ての事業の精査・検証し、被災者支援の財源確保を強く求める決議を、全員で賛成したのに、本会議で意見を覆し、この決議案を提出した矛盾。②炊飯器等初期投資費用は、炊飯加工賃1食あたり約27円が必要になることで受益者からの回収可能③食育に重要な米飯給食推進に不可欠。④避難所などになったことなどを想定。これらの理由で反対。対案に賛成した。



常任委員会では、請願の紹介議員が請願者に代わり委員からの質問に答える。



東公民館1階に中央図書館「山本南分室」がオープン。開室日、開室時間にご注意！

- ◇ 開室日：月・火・木・土・日
(水曜日と金曜日、毎月11日は休室)
- ◇ 開室時間：12:30～18:00



小学生公開授業の様子。次々と手が挙がり、西垣さんに質問する子どもたち。

被災者支援にかかる財源確保に向け、不急な事業の見直し等を求める決議(案)の提出について↓可決



兵庫県の公立高等学校普通科の通学区域が、5学区に変更されようとしています！

子どもの貧困が大きな問題となっている今、PTAや市民の願い・活動が無視して、2015年3月末に定時制川西高校が廃止されます。余りに社会情勢に疎い県教委には幻滅！その上、県立高校の学区が変更されようとしています。現在の16区分を5に編成するものですが、以下の問題点があげられます。

● 学区が広く・遠くなる

宝塚市は阪神・丹波学区に属し、学校数は29校に。入試の時に「その他校」で合格すれば、学区内のどこに行くか判らず、通学に困難をきたす生徒がでてくる可能性がある。(例えば、宝塚市から丹波市へ遠距離通学する場合も十分に考えられる。)

● 性急過ぎる実施

最も影響を受ける市教育委員会に話があったのが6月30日。新聞発表と意見募集が7月1日から29日まで約1ヶ月間のみ。その上、実施は遅くとも2年後の入試から。複数志願選抜制が開始して2年では、その検証もできていない。

大きな変更は困難？
でも声は上げ続けないと！

● 不十分な説明

県民の不安感を解消すべき素案説明会は、県内で7箇所のみ実施。しかも平日に開催！

● 行き届かない進路指導と地域の学校としての希薄さ

進路先(高校)の選択肢が多すぎて、中学校が詳細を把握できない。
また、学区拡大によって生徒が集まらない学校が予想され、安易に統廃合されてしまう。
さらに、住民、生徒にとっての「地域の学校」としての意識は薄れてくる。



◆ 兵庫県高等学校通学区域検討委員会報告(素案)の概要

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~koko-bo/kaikaku2/tuugakukuikikentou/houkokusoangaiyou.pdf>

(※この文中では、現行制度の「課題」は挙げてあるが、新制度は「効果」のみ記載され「課題」はない。)

◆ 兵庫県高等学校通学区域検討委員会報告(素案)へご意見をお寄せ下さい!!

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~koko-bo/kaikaku2/tuugakukuikikentou/publiccomment.html>



あまりの理不尽さに、市も困惑。今後、8月には、保護者・教員・市教委が一丸となり、「宝塚市における高等学校通学区域検討会」から、市の統一意見を県教委に提出します。

※ 月一回大島事務所で開催。初心者もOK。興味のある人はご連絡を。

杉山鮎水 選

二月

(特選) 土手の道まだ眠たげな路の臺

◇ 停車場に鶯声届き多事忘る

◇ 観音を囲める芽木のうるむかな

三月

(特選) 鶯のふと鳴き出せる雨間かな

◇ 分かれては交わる小道梅林

◇ 梵鐘の間延びてひびく春の昼

四月

(特選) あのことに触れず同期の花見会

◇ 女子会の話題は上司花の下

◇ 枝先の雨うす緑風のなく

恵之輔

朝子

綾子

峯子

朝子

綾子

峯子

朝子

五月

(特選) 皇后へ被災の娘より黄水仙

◇ 花水木犬に引かれて走る下駄

◇ 山の端の宵は淡紅色鐘おぼる

六月

(特選) 雲やがて音なき雨に花菖蒲

◇ 子かまきり行進するや斧あげて

◇ 新茶売る老舗の奥の京言葉

七月

(特選) 琴の音と三味の合奏夕涼し

(特選) 砂日傘迷子の握る貝の殻

◇ 妖精のささやくように合歓の花

綾子

朝子

峯子

峯子

比登美

惠之輔

朝子

峯子

峯子

朝子

峯子

早苗田の会

第26回

「平和」みる・きく・伝える展

小学生公開授業



今回は、西垣敬子さんがアニメや写真を使って、小学生を対象に公開授業を行いました。

西垣さんは1994年

宝塚・アフガニスタン友好

協会を設立。毎年アフガン

入りして、女性と子どもを

対象に支援活動をされて

います。

公開授業は、『私が出会

ったアフガニスタンの

人々』をテーマに、長尾南

小6年生とのやり取りを、

一般の参加者20名程が参観するというもの。

メディアでは殆ど見るこ

とのできない、日本人教師が建てた、バーミヤンの

山上の学校。水道や机が無

くても、イキイキと学ぶ子

どもたちの姿。このような

現地の実情は、多感な思春

期の宝塚の子どもたちの心

に、響いたに違いありません。

長く続けて欲しい事業

です。

『地元の農産物を購入

することで農地の守り手

になる』、消費者食育と生

産者食育が相乗効果を生

み、農業振興に繋がった例

です。大阪府中部農と緑の

総合事務所、東大阪市農政

課、JAグリーン大阪に聞

くと、①地産地消で、消費

者の農地保全の意識に訴

える。②減農薬等で頑張る

「エコ農家」を支援、農業

東大阪市のファームマイレージ² 運動とは？



例えば、小松菜1袋(約250g)では…



1250cm²程度(約35cm四方)で、一袋の小松菜が育っている

小松菜1袋を買うと、小松菜が育つのに必要な農地1250cm²を守ったことになる。(上の写真)小松菜に張り付けてあるエコシールを集めると更にお得。

の活性化に。この2点が

主な狙い。併せて、ポイ

ントを溜め、購買意欲を

そそる仕掛けもあり。

その結果、エコ農産物

栽培面積は2年で7倍

に、地場産農物(エコを

含む)の売上は2倍にな

りました。

ここでも、大きな役割

を果たしたのは、府の田

中さんをはじめ、職員た

ちの熱意でした。



中学生自宅放火事件から1年が経つ。「ちがいを認めあう共生のまちへ」と題し、とよなか国際交流協会の榎井縁さんの講演があった。ブラジル人はこの10年で25倍に増えた。そのうちの2人に1人は永住者、5人に1人は子どもという現状。衝撃だったのは、低賃金・長時間労働で過酷な生活を送る親に対し、子どもたちは日本語が堪能で家庭内の地位が逆転していること。彼らの居場所は家庭にも無いとは。そんな彼らの喜びは「社会貢献」だ。日本人の役に立つこと～地域



末広中央公園にある平和祈念ベンチ。市民の寄付と熱い思いで設置された。中央には被爆アオギリが育つ。

の一員となることだ／関電に要請文を出した宝塚市。呼びかけに応えたのは、尼崎と篠山だけだったが、「我々自治体とともに、脱原発・エネルギー政策の転換を」と訴えた／悲惨な事件や災害で失われたものは大きすぎる。しかし、過ちに気づき正しい道を模索し進むことが、遺された私たちの使命である